

シンポジウム 日本における近代建築の原点 - 吉田鉄郎の作品を通して -

富山テレビが、「東京中央郵便局」「大阪中央郵便局」の設計者、吉田鉄郎の人物像を浮かび上がらせる特集番組『平凡なるもの～建築家 吉田鉄郎物語～』を制作しました。番組は5月19日に放映されましたが、残念ながら東京では見る事が出来ませんでした。

そこで、この番組を見て、吉田鉄郎の作品について議論するシンポジウム「日本における近代建築の原点－吉田鉄郎の作品を通して」（主催：日本建築学会）を6月30日に建築学会ホールで開催いたします。

多くの方がシンポジウムに参加され、『平凡なるもの～建築家 吉田鉄郎物語～』を見ていただければと思います。

南一誠 [芝浦工業大学]



吉田鉄郎建築作品集より

シンポジウム 『日本における近代建築の原点 - 吉田鉄郎の作品を通して』

主催：日本建築学会

日時：6月30日(月) 開場17:30 18時00分～20時00分 会場：建築会館ホール

内容：主旨説明：南一誠(芝浦工業大学)

講演：吉田鉄郎の建築作品と人(仮題) 東亜希子(富山テレビ)

パネル・ディスカッション：司会：南一誠(前掲)

鈴木博之(東京大学)、東京中央郵便局を重要文化財にする会、東亜希子(前掲)

定員：200名(当日先着順)

参加費：建築学会会員1,000円、登録メンバー1,200円、会員外1,500円、学生500円(資料代含む)

詳しくは日本建築学会のホームページをご覧ください。

http://news-sv.aij.or.jp/jnetwork/scripts/view30.asp?sc_id=1963

富山テレビ制作 『平凡なるもの～建築家 吉田鉄郎物語～』

ストックホルム市庁舎の八角形の黒い柱と、東京中央郵便局の八角形の柱とのかかわりから番組が始まり、脳腫瘍に侵された晩年に口実筆記で制作した著書まで、建築家吉田鉄郎の足跡をたどるとともに、東京中央郵便局が現在置かれている状況、設計・建設時に吉田や時代が考えていたことを冷静に取材したドキュメンタリー番組です。

番組の中に出てくる吉田鉄郎のいくつかの言葉「会心の作はまだない」、「日本中に平凡な建物をいっぱい作りましたよ」や、ドイツ取材で、吉田鉄郎がヴァスムート社に送った「日本の建築」の自筆の原稿と亡くなる5日前の消印…など吉田鉄郎の建築への想いが伝わってきます。

詳しくは富山テレビのホームページをご覧ください。 <http://www.bbt.co.jp/bspe/index.html>